

ほっとだて

Contents

第5回定例会議(9月)審議議案 P2~3

令和2年度決算認定、一般質問 P4~11

委員会所管事務調査報告 P12

頑張っている伊達な人 P13

陳情・請願の出し方、みなさんからの請願 P14

※「ほっとだて」ロゴデザイン 保原高校美術部

伊達市議会ホームページ

<http://www.city.fukushima-date.lg.jp/site/gikai/>



「頑張っている伊達な人」

(☆インタビューは13ページに掲載)



◆第5回定例会議(9月)議案審議◆

会議期間21日間 9月2日～9月22日

伊達市の

こんなことが決まりました

◆第5回定例会議の議案等は44件
専決処分の報告……………2件
報告……………2件
人事……………3件
条例の制定……………1件
条例の一部改正……………4件
補正予算……………7件
決算認定……………21件
その他(議員発議を含む)……………4件
◆請願……………2件

この中から2つを **Pick up**

※全ての議案名と結果は、伊達市議会ホームページをご覧ください。



Pick up 1

9月の補正予算 文化財、地域資源の保護活動

2月の福島県沖地震により被災した保原総合公園にある国指定有形文化財「旧亀岡家住宅」の復旧のために、文教施設災害復旧費3,305万4,000円が増額補正されました。

また、梁川地域にある国登録有形文化財の「旧熊倉家住宅」についても維持管理・利活用計画の検討のため、梁川歴史と文化のまちづくり推進事業として300万円の予算が増額されました。



旧亀岡家住宅

Pick up **2**

レンタサイクル事業で 伊達市再発見

コロナ禍の中、見直されている自転車。
人の力で遠くまで私たちを運んでくれる自転車。

こどもの頃はどこまでも、どこまでも行けた頼もしい相棒でした。

クルマを使った移動では見つけられなかった街の風景、
そして匂い。

風を切って親しい友人や仲間、家族で街を訪ねていけば、
きっと新しい発見があなたを待っています。

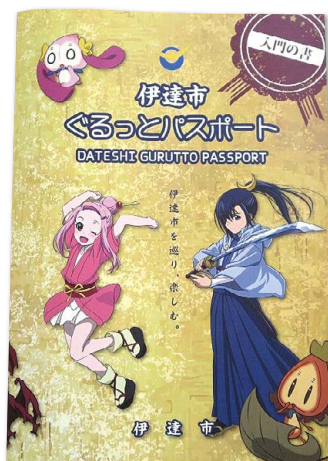
令和3年第5回定例会議において「観光でにぎわう魅力
づくり事業」でサイクルツーリズムの補正予算が議案提出
され、可決しました。

現在、レンタサイクルは市のホームページで紹介されてい
るように「道の駅伊達の郷りょうぜん」と「梁川総合支所庁
舎の2か所にレンタサイクルの実証実験として配置されて
います。いまは1回2時間までのレンタル時間ですが無料で
借りられます。車種は電動クロスバイク、クロスバイク、タン
DEM自転車(前後2人乗り)、キッズバイクです。筆者も電動
クロスバイクに乗り感動しました。ぜひ体感してください。

これから、伊達地域(まちづくり伊達)・保原地域(保原総
合公園)・月舘地域(つきだて花工房)でも順次展開してい
きます。**※貸出場所は予定です。**

伊達市ぐるっとパスポートも利用してみて！

伊達市ぐるっとパスポートは、伊達市内の指定のお店や
観光施設を利用してスタンプを集め、伊達市のファンであ
ることを証明するステーションアップ方式の周遊型パスポート
です。ステーションアップすると「政宗ダテニクル」限定グッズ
がもらえ、「伊達市特産品」が当たる抽選券を手に入れるこ
とができます。



伊達市ぐるっとパスポート



レンタサイクル (タンDEM自転車)

令和2年度

一般会計・特別会計決算を認定しました

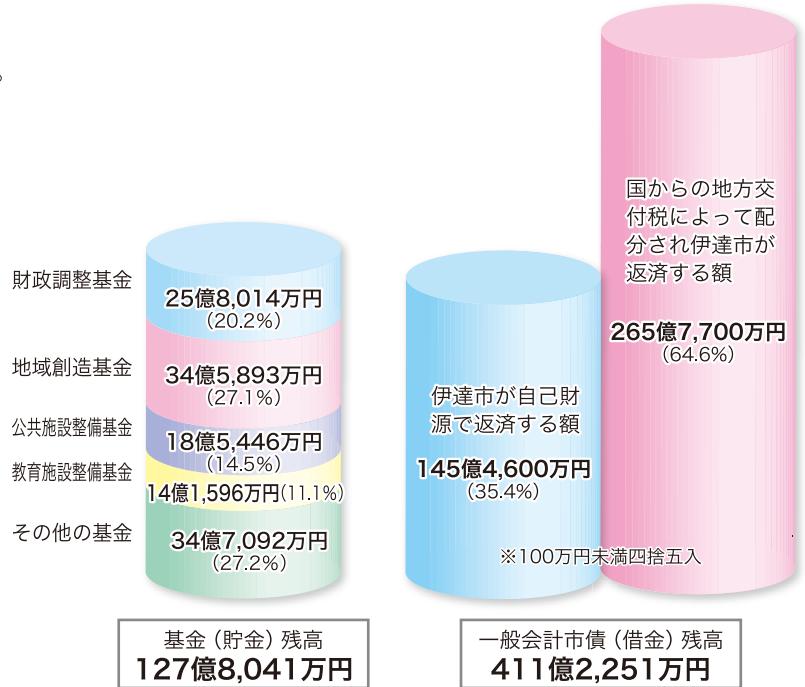
■令和2年度決算の基金と市債

議会だより「ほっとだて」では、令和2年度末時点での基金（貯金）残高と市債（借金）残高についてお知らせします。

令和2年度末	基金残高（貯金）
一般会計	116億6,379万円
特別会計	11億1,662万円
合計	127億8,041万円

令和2年度末	市債残高（借金）
一般会計	411億2,251万円
特別会計	2,150万円
水道事業	42億7,675万円
下水道事業	70億9,349万円
合計	525億1,425万円

一般会計の返済



第5回定例会議(9月) 問一般質問 答

一般質問では13人の議員が登壇し、市政全般について論戦を展開しました。

一般質問議員と質問項目

■9月7日登壇

佐藤 清壽

- 1.非核平和都市宣言推進事業
- 2.安心・安全の防災行政無線の放送
- 3.16歳以下の新型コロナ感染予防

八巻 善一

- 1.伊達市過疎地域自立促進計画等

伊東 達朗

- 1.教育行政
- 2.伊達市のキャラクター

池田 順子

- 1.須田市政の総括
- 2.地場産業の創造
- 3.防災対策の再検証

丹治 千代子

- 1.ICT教育の今後のあり方
- 2.新型コロナワクチン接種
- 3.コロナ禍における自殺や望まない妊娠

■9月8日登壇

半澤 隆

- 1.「住みよさランキング2021」での伊達市の現状と今後の対策

中村 正明

- 1.新型コロナウイルス感染症

- 2.自主防災組織の活動支援
- 3.梁川の指定史跡と文化財
- 4.やながわ工業団地に計画されているバイオマス発電所

池田 英世

- 1.今後の水害対策と新型コロナウイルス変異株対策

佐藤 栄治

- 1.コロナワクチン接種データ管理
- 2.新高橋地区の地区計画の進捗

■9月9日登壇

近藤 真一

- 1.新型コロナウイルス感染症に関すること
- 2.就農者支援等に関すること
- 3.消防団員の在り方
- 4.民間事業者との協定などに関すること
- 5.障がい福祉に関すること

小嶋 寛己

- 1.生活保護制度

菅野 喜明

- 1.IOTを用いた有害鳥獣対策
- 2.伊達市の子育て支援事業
- 3.市長1期目の公約（マニフェスト）

佐藤 実

- 1.ご遺族支援（おくやみ）コーナーの設置

※一般質問の方の欄にQRコードが掲載されています。スマートフォンなどで読み取っていただきますと、録画映像にアクセスできますのでご活用ください。



■非核平和都市宣言推進事業を問う



佐藤 清壽

Q 今年度、コロナ禍での非核平和都市宣言推進事業は、どのように実施されたか伺います。

A 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が行っており、まず被爆体験伝承者を招聘しまして、講話を開催するとしていたところですが、それに併せて、原爆パネル展も通して、新たな取組で広く被爆の実相を学習してもらう機会をつくるということ、計画はしていましたが、残念ながら、コロナ禍の状況でありますので、この開催を今のところ見送っている状況です。

A 懸垂幕につきましては、前回、佐藤議員から質問をいただいていたので、改めて市民の皆様へ、非核平和都市を宣言していることを周知するという目的で、今年の3月から庁舎西側の壁に掲示をしたものです。

Q ホームページでは、広島への派遣事業の代わりに、令和2年7月に「広島原爆から平和を学ぶ」という特集ページを立ち上げました。また、令和元年度に広島に派遣した中学生に対して、フォローアップアンケートを行い、その結果についてもホームページ上で公表しています。

A 本事業における来年度の計画を伺います。
Q 令和4年度につきましては、基本的には令和3年度と同様の事業は実施していきたいと考えております。また、令和元年度まで派遣事業の中で参加していた「ヒロシマ青少年平和の集い」が令和3年度はオンラインで開催されました。令和4年度についてもオンラインで開催されることが確認できたとともに、各中学校に呼びかけて、参加を促していきたいと考えております。



■伊達市過疎地域自立促進計画について



八巻 善一

Q 伊達市過疎地域自立促進計画が平成22年から平成27年まで策定されていましたが、法改正により、平成28年から平成32年まで延長されました。合併時からの主要事業について伺います。

A 平成18年の合併から平成30年度までに、主に市道、林道、消防施設、月館地域の御代田コミュニティセンター、つきだて花工房の整備など8億6,660万円の借入事業を行いました。

Q 霊山、月館、梁川地域の過疎地域の現状と課題について伺います。

A 霊山、月館、梁川地域については他の地域と比較して人口減少、少子高齢化が著しく進んでおり、地域社会の担い手不

足による地域活力の低下、生活環境・自然環境の維持保全の困難化、雇用就労の場の不足、空き家増加による生活や景観への影響、農地・森林の荒廃など多くの課題を抱えていると認識しています。

Q 伊達市の過疎地域の実情に合った事業について、県との協議を求めますが、市の見解を伺います。

A 手続きとしては、各自自治体からの第1次要望を県が集計し、国へ提出します。国の全体枠をオーバーした場合には調整指示があり、県が調整するものと思われませんが、市としては必要な事業の大事な財源であり、起債申請の中で認められるように積極的に協議していきます。

Q 今後のスケジュールについて伺います。

A 10月に県との事前協議を要請しております。併せて、市民のパブリックコメント（意見公募手続き）の結果を踏まえて内容修正し、11月に県と正式協議を行う予定です。議会については、12月定例会議に上程して審議いただく考えです。



「子育て日本一」をめざす総合教育センター



伊東 達朗

Q 市内学校における新型コロナウイルス感染の有無とワクチン接種推進の指導について伺います。

A 学校での感染は確認されていません。ワクチン接種については指導せず、個人の意思で受けていただいています。

Q タブレットを使ったICT教育の進捗について伺います。

A 小学1年から中学3年までタブレットを配布し、授業中に使用、またドリル学習で復習もできます。学習内容の理解が進み、取り残される児童生徒が少なくなっています。単語を覚える、文章の朗読など自分で問題を解決する姿が見られています。

Q タブレットの家庭学習での活用について伺います。

A タブレットを日常的に持ち帰ることは9月中旬から、10月からは家庭のインターネット環境につなげられるようにしたいと考えています。家庭にネット環境がない場合はWi-Fiルーターの貸出を進める考えです。

Q 今年度の教育行政の重点事業である総合教育センター設置について、妊娠・出産・赤ちゃんのネウボラから幼小中、義務教育課程まで一貫して相談を受けられるような新しい制度に取り組みないか伺います。

A そのような機能を一元化し展開する教育センターの実現に向けて努力してまいります。

Q 「だってちゃん」について作成の経緯と活用について伺います。

A 友好交流都市である千葉県白井市の職員有志が伊達市特産の桃をモチーフに作成し、提供されたものです。使い勝手も良く、白井市との友好のあかしでもあるので、今後いろいろな場面で活用できればと考えています。



だってちゃん



地場産業の創造の考えを問う



池田 順子

Q 「健幸と個性が創る活力と希望あふれる故郷」これは伊達市の標語ですが、現状はどうでしょうか。この地は養蚕とニット産業で栄えました。地場産業のないところに雇用は生まれません。消費は伸びません。人口は増えません。繁栄はありません。伊達市最大の課題だと思えますが、市の考えをお尋ねします。

A 養蚕業から始まり、ニットや電子デバイスなどの様々な企業に立地していただいております。地域貢献および消費に繋がっていると考えています。

Q 養蚕・ニット産業に続くものとして、また農工一体を目指す時、ニットの業界の協力のもと、国・県の指導や助成を求め、市が主体となって、新しい

Q 地場産業の創造に着手することを提案しますが、見解を伺います。

A 農工商連携支援という形の中で、国や県の支援制度も含め、市としても関わっていきたくと考えています。

Q 避難所の新型コロナウイルス感染対策はどうあるべきか、市の考えをお尋ねします。

A 県が作成した「ふくしまマイ避難ノート」を活用し、周知しております。

Q 市長就任以来、大規模災害が相次ぎ、またコロナ禍の中で市政の舵取りを果たされました。伊達市選挙管理委員会は来年の市長選挙を1月23日告示、同月30日投票に決定しました。市長の所信をお尋ねします。

A 台風被害からの復旧、感染症対策、子育て・教育の充実、健康づくり、新工業団地の整備、そして大規模商業施設の誘致などを行ってまいりました。市民の命と健康を守ることが最優先に、新型コロナウイルス対策に全身全霊で取り組んでいたため、後援会・支援者のご意見を伺っていない状況です。早い段階に態度を明らかにしたいと思えます。



ICT教育のあり方について



丹治 千代子

Q オンライン授業の学習効果は、子どもの意欲や学習の程度による差が大きいと思います。子どもの意欲は保護者のケアに左右されることが多いと思います。家庭環境による格差の拡大が懸念されますが、格差是正の具体策について伺います。

A タブレットの使い方が分からないために学習意欲がそがれることがないように、児童生徒が自分で操作できるように、学校で使い方はしっかり指導します。

Q 統合型校務支援ソフトの運営管理により、教職員の働き方改革を促進し、児童生徒と向き合う時間は確保されていますか。

A システムの導入によって、教職員の事

務軽減が図られ、生徒児童の声にじっくり耳を傾けて、寄り添う指導に結びついているという報告を受けています。

Q コロナ禍における臨時休校時にオンライン授業を実施して、児童生徒の学びを保障することは重要ですが、私は、学校教育で一番大切なことは、教員と子どもが対面して、お互いの五感を使って、信頼関係をつくることだと思っています。ICT教育やGIGAスクール構想では、対面して人間関係を築くことが困難になるのではと危惧しています。GIGAスクール構想に対する教育長のお考えを伺います。

A GIGAスクール構想については、これまでの対面授業のスタイルとタブレット活用を組み合わせ、学習効果を最大限に引き出すことを目指しています。したがって、GIGAスクール構想は目標ではなく、子どもたちの多様な学びを保障する一つの手法であると考えているので、もちろん対面授業は最も大事です。教育の目標は子どもたちの人格形成なので、大事にしなければならぬと思っています。



半澤 隆



「住みよさランキング2021」での伊達市について

Q 全国812市区の中で、伊達市は774位、県内13市でも最下位になっています。この内容について、どのように認識しているのか伺います。

A 「住みよさランキング」は、東洋経済新報社が国の公的統計等をもとに、安心度、利便度、快適度、富裕度の四つの項目に分類し集計した書籍と認識しています。

Q 県内トップの会津若松市や類似の市について、どのように研究・分析をして対策を講じていくのか伺います。

A 会津若松市は総合評価で63位、白河市が98位、南相馬市が213位になっています。下位に低迷しているのは、伊達市

のイメージダウンにもつながるので、今後、第3次総合計画の中で目標値の設定や庁内で議論をしながら、改善の目標値の指標として参考にしていきたいと思っています。また、東北中央自動車道相馬福島道路の全線開通による堂ノ内地区の大型商業施設の誘致・開発や新工業団地の造成、阿武隈急行高子駅北地区の住宅団地の整備により、利便度、快適度、富裕度の向上を図り、住みよさランキングのアップにつなげてまいります。

Q 総合評価を押し下げる要因の一つである「快適度」が801位と低位で、この順位をどのように分析しているのか、そして今後の対策について伺います。

A 快適度の指数は、転出入人口比率、水道料金、汚水処理人口普及率、都市公園の面積等があり、特に水道料金が全国比で高いことが要因になっています。今後、福島地方水道用水供給企業団からの受水単価の低廉化や料金統一化に向けた協議を進めてまいります。



■梁川の史跡と文化財について



中村 正明

Q 梁川遺跡群全体の整備・活用計画を伺います。

A 令和元年10月、伊達氏の館があった鶴ヶ岡地内、室町時代から戦国時代の寺院跡、屋敷跡が残る南町頭地内)として国史跡の指定を受けました。今後は、中世伊達氏が治めた堂庭遺跡と岩地蔵遺跡を国指定史跡として申請し、伊達氏梁川遺跡群として一体的な整備を進めます。令和5、6年で保存活用計画を策定します。文化庁とのやり取りで、整備着工までは時間を要します。梁川城跡には、史跡の説明・案内看板等の設置を先行して進めていきます。

の陣屋跡(上杉時代の代官の出張陣屋、築山庭園)の保全について伺います。

A まず、調査を行い、対応していきます。文化財の修繕は優先順位を考え、スピード感を持って進めます。

Q 文化財の保護事業を伺います。

A 今年、施設の整備基本計画策定を進め、「梁川総合支所庁舎」、「旧山舟生小学校」、「保原歴史文化資料館」の活用を考えています。その中で梁川総合支所庁舎は文化財の公開展示(梁川遺跡群関係資料)を予定しています。

■バイオマス発電施設に関すること

Q 6月定例会議で当該事業計画に対する反対決議を全会一致で可決し、市民、議会とともに事業計画の白紙撤回を求めています。一刻も無駄にできない中、解決策を伺います。

A 本件については、地域住民や周辺事業所が事業者に対し、大きな不信任・不安を抱えていることが一番の問題です。これまで以上に丁寧な説明、真摯な対応を求め、不信任・不安を払拭できるよう、法令に基づき適切に対応していきます。



■今後の水害対策を問う



池田 英世

Q 田んぼダムの実証実験の検証結果をお聞きかせください。

A 伝樋川流域210ha、延長5kmの調査を行った結果、豪雨時に理論上、水田湛水量約38万tと推計され、田んぼダムとしてピーク時に水位・水量を下げる効果があります。

Q 田んぼダムをどのように整備、拡大していく予定かお聞かせください。

A 田んぼダムの機能を認識していただき、地形効果が得やすいエリアに声かけをしていきたいと思えます。

Q ペットの同行避難所に関する進捗状況をお聞かせください。

A 本年4月に「避難所運営マニュアル」を改訂して、ペットの同行避難事項を追加しています。指定避難所施設の中と

隣接する場所にペットが同行避難できるという形の対応は取れるようにしています。

■新型コロナウイルス変異株対策は

Q 新型コロナウイルスの接種状況について、また接種後の効果についてお示しください。

A 65歳以上で、1回目終了が91・9%、2回目終了が90・6%。19歳、64歳で、1回目終了が51・3%、2回目終了が33・8%。12歳、18歳で、1回目終了が75・1%、2回目終了が69・1%。全体で、1回目接種68・9%、2回目接種58・6%という接種率です。効果は、2回接種後は、感染の多かった高齢者の割合が減少したという結果に現れています。

Q SNSなどで拡散している新型コロナウイルスに関する見解をお示しください。

A 正しい情報を分かりやすく広報紙、新型コロナウイルス感染症対策特別号で月1回程度、また市ホームページなどで伝えていきます。

Q 新たに加わったワクチン接種の優先者をお聞かせください。

A 妊婦とそのパートナーになります。



■コロナワクチン接種データ管理について



佐藤 栄治

Q コロナワクチン接種のデータを管理する、内閣府推奨のVRSシステムについてご説明願います。

A VRSとはワクチン接種記録システムのことです。ワクチン接種した方々の記録を国が集中管理しています。集団接種会場・個別接種会場で行う全国一斉の状況が瞬時にわかるシステムです。

Q 集団接種会場等で使用しているこのシステムはどちらの業者に外部委託していますか。

A 名鉄観光サービス株式会社福島支店に業務委託契約しています。個別医療機関については、直接入力しますが、パソコン操作が不慣れな医療機関の場合は、市が記録などを書類で受け取り、すぐに入力するようになっていきます。

Q 10桁の個人認識番号で予約等を管理していて、キャンセル等の数が、なぜ管理システムのデータ上にすぐに反映されないのですか。

A 3日前までのキャンセルはデータ上、管理システムに反映できますが、当日等の直前のキャンセルには対応できません。

予約した方が会場に来なかった場合は、会場担当者から予約者の方に連絡して、30分程度の遅れなら接種可能としております。

また、キャンセルによりワクチンが余る時は、集団接種会場の業務従事者等での調整により、ワクチンに無駄が出ないように努めております。

Q 集団接種会場のデータ反映と個別接種会場のデータ反映の乖離は何日ありますか。

A 集団接種会場はリアルタイムでデータが反映されますが、個別接種の医療機関で、書類で処理されるものは、ファクスでその日に送信されて市職員が入力することになります。翌日の朝に送信された場合は1日遅れになります。アナログ的な部分もありますが、人的能力を結集して行っています。



近藤 眞一

■コロナ危機、市民生活への支援を



Q コロナ禍の下、経済状況を好転には長期間を要すると思えますが、今後の状況等も考慮した事業者及び市民への支援について見解をお示しください。

A 消費喚起策としての、2回目のプレミアム商品券の発行や、事業者への3回目の一律10万円の事業継続奨励金を支給したいと考えており、今回、予算補正をお願いしています。このような支援策を組み合わせ、継続した事業者支援を考えています。

Q 生活困窮者自立支援金は要件が厳しく、申請に至らないことが多いです。コロナ禍で生活困窮に陥ってしまった世帯への給付金等は検討できないかお示しください。

A 生活困窮者はコロナ禍で大変厳しい状況にあると認識しています。国の制度も申請状況があまり芳しくないことも確認していますので、課題を洗い出し、明らかにした上で申請者に対して相談していきたいと考えています。

■障がい者の公共施設利用料減免は

Q 6月定例会議では実施に向けた検討を進めたいという答弁でしたが、9月定例会議に条例案が提出されました。条例案の詳細をお示しください。

A 障がい者及びその介護者の公の施設の利用料を免除し、経済的負担の軽減及び社会参加の促進、福祉の増進に資することを目的に、公の施設の利用料等の免除に関する条例制定を本定例会議に上程しました。対象者は身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方で、利用料等のある公の施設を利用する場合、障がい者の利用料免除と介護者も1人に限り同様に免除することを考えています。対象となる施設や免除の範囲については、議会の議決後に、条例施行規則で定めたいと考えています。



■伊達市の生活保護の精神的ハードルの引き下げを



小嶋 寛己

Q 市ではどのような方法で、生活保護制度の周知を図っているか伺います。

A 市のホームページでの周知や相談で来庁した方々に市が作成した生活保護に関するパンフレットを配布し、周知を行っております。また、本年度は新型コロナウイルス感染症に係る生活困窮者自立支援金給付の対象者の方に対して生活保護制度に関するチラシを同封するといった方法などでも周知を行っております。

Q 一部で見受けられる生活保護制度や制度利用者に対する不当な偏見などを、市はどう捉えているか伺います。また、そのような偏見を軽減するための市の取り組みについて伺います。

A 全国的な話ではありませんが、生活保護に対する偏見があることは承知しております。市では、被保護者の特定を防ぐために、生活保護制度に関する市役所での相談をカウンターではなく別室で受け付けたり、定期訪問の際に市の名称が入っていない公用車を利用するなどの配慮をしております。

Q 「扶養照会」は誰に行われるか伺います。

A 扶養照会の対象となるのは扶養義務者と呼ばれる方で、原則として三親等以内の親族になります。扶養義務者に対して、被保護者に対する金銭的な援助の可否などの扶養能力を確認する目的で扶養照会を行っております。

Q 伊達市において扶養照会が金銭的な援助につながる確率は、どの程度であるか伺います。

A 扶養照会を行う前に、生活保護申請者が扶養義務者と金銭的援助について話し合いを行い、支援が不可となった場合に申請に至るケースが多いため、扶養照会が直接的な金銭的援助につながる確率は極めて低い状況です。



■須田市長1期目公約（マニフェスト）を問う！



菅野 喜明

Q 市長の1期目の選挙において、4つの大項目と12の小項目の公約が出されています。自己評価として、何点くらい達成できたのか伺います。

A 公約の評価については、市民の皆さんがつけるべきものなので、私からあえて点数をつけるべきものではないと考えます。

Q 市長の任期中に、令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症が発生しました。それに対する市長の対応は十分であったのか伺います。

A 令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症については、反省すべきこと、あるいは対応できたことが多々ありました。市長の対応は十分であったかと問われれば、私

は十分であったとは考えていません。自分自身を評価することは非常に難しいと思っております。あえて申し上げれば、十分であったと考えており、だからこそ、不足していたことの改善や対応が必要であると感じています。

Q 人口減少が続く中山間地域の施策について十分であったのか伺います。

A 私は、中山間地域の課題は、若者の定住と高齢者の健康対策だと思います。若者の定住には、仕事があり、必要な収入を確保できることが大きな選択肢になります。新規就農者が参入しやすくなる制度を創設し、高齢者の足の確保となるデマンド交通の見直しも進めます。空き家バンクもしっかりと充実させます。

Q 今後、2期目に立候補する際に、公約（マニフェスト）を作成していくことになると思います。市民の声を反映させるような仕組み、システムが必要と考えますが、市長の考えを伺います。

A 現時点で、立候補を表明していませんので、お答えすることはできません。ご了承承願いたします。



■遺族支援（おくやみ）コーナーの設置を



佐藤 実

Q 少子高齢化に伴い、我が国の年間死亡者数は年々増加傾向にあります。同居の家族や大切な方を亡くして、悲しみの中にいるご遺族の方々にとって、死亡や相続に関する手続は大変な負担となります。心理的負担に加えて、その手続のために、複数回または多くの部署をまたいで、慣れない申請や変更手続など、煩雑さは容易に想像できます。2016年5月に大分県別府市では職員の見案からお悔やみコーナーを開設し、遺族の悲しみに寄り添って手続を一括して進めるサービスが実施され、年金や保険、税金などの多岐にわたる手続にワンストップで対応することで、窓口のたらい回しや手続漏れを防ぐことができています。これにより、市民

への負担軽減や、各窓口での職員の対応時間の短縮等にもつながっているようです。

A 市に提出される死亡届の件数は年間でのどのくらいあるのでしょうか。

A 令和2年度の死亡届出は923件となります。そのほか本籍が伊達市にある方で、他市町村に提出されて伊達市に送付されてくるものが197件、合わせて1,120件です。

Q 死亡に伴う手続の申請書は、何種類ぐらいでしょうか。

A 二、三種類の手続で済む方から、多い方で10種類以上の手続が必要な方もいます。

Q お悔やみコーナーを設けて、ご遺族の皆様方が相談に来た場合に、ワンストップで済む窓口を早急に設置すべきと考えますが。

A お悔やみコーナーの設置については、市役所で行う様々な手続の中でも特別なものとして認識しております。早急に先進自治体の事例調査を進め、よりよい形で実施できるよう、10月から庁内関係各課と協議を進めてまいります。

議決結果	無会派			フォーラム伊達			「きょうめい」			創志会			伊達市民クラブ			共産		会派名議員名		議案等
	半澤隆	中村正明	佐藤栄治	小嶋寛己	大條一郎	佐藤直毅	池田英世	八巻善一	丹治千代子	菅野喜明	安藤喜昭	佐藤実	大和田俊一郎	伊東達朗	菊地邦夫	小野誠滋	池田順子	佐藤清壽	近藤眞一	
賛成・反対	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議案等
不採択	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	伊達上志和田地区の下水道整備に関する請願 賛成Ⅱ○ 反対Ⅱ● 請願第8号

第5回定例会議（9月）賛否一覽表

※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

※議長（高橋一由）は採決に加わらない ※会派名の省略 共産⇒日本共産党伊達市議団

議会だより「ほっとだて」に広告を掲載しませんか

1回あたりの広告料
縦45ミリ×横87ミリ（赤点線の枠）
 11,000円
縦45ミリ×横180ミリ（青線の枠）
 20,000円
 広告料は議会だより発行の財源になります

お店、会社、イベント情報等の紹介に!

掲載については、議会事務局（電話575-1217）にお問い合わせください。

※このスペースは有料広告です

文教福祉常任委員会所管事務調査の報告について

文教福祉常任委員会は、今後設立が予定されている伊達市総合型地域スポーツクラブの機能的な運営に向け、関係機関（ふくしま広域スポーツセンター）を招いての研修や所管部局からの聞き取り及び先進地視察（特定非営利活動法人スポーツコミュニケーションかくだ〔宮城県角田市〕、一般社団法人いわしろふれあいスポーツクラブ〔二本松市〕）を行い、調査・研究しました。

令和3年第5回定例会議最終日（令和3年9月22日）に次のとおり報告し、本会議散会后、市長へ提言書を手渡しました。



高橋議長より須田市長へ提言書を手渡しました。
（右から菅野教育長、市長、議長、菊地副議長、菅野文教福祉常任委員長、近藤副委員長）

伊達市総合型地域スポーツクラブへの提言

1 調査の目的

文教福祉常任委員会は、令和4年度に設立が予定されている総合型地域スポーツクラブについて、福島県の「ふくしま広域スポーツセンター」に対する聞き取りや他の自治体へ視察研修を行うなどして調査を行った。この調査により、以下の項目の提言を伊達市に提出する。

2 市に対する提言

1. 運営主体の構築

- (1) NPO法人もしくは一般社団法人等の法人格を取得し、会計を明確にして、補助金や助成金の申請や取得をスムーズにすること。

2. 総合型地域スポーツクラブのミッションとビジョンを明確にすべきである

- (1) 角田市のスポーツクラブなどを参考にして、国の法律や計画を取り入れながら、独自のミッションとビジョンを策定し、伊達市のスポーツ振興をはかること。

3. 事業計画を示して、予算規模を明確にすること

- (1) 年会費については、額の設定根拠を示すこと。
- (2) 補助金や助成金を積極的に運用に活用すること。

4. 核となる人材を確保して、その人材を中心にクラブの事業を推進すべきである

- (1) 総合型地域スポーツクラブに、クラブマネージャー人材を配置すること。他の組織との兼務は、極力すべきでないを考える。

5. 多種多様なスポーツにふれあう機会をつくること

- (1) クラブでは、子どもたちがスポーツにふれあう機会を増やし、スポーツ人口をふやすことを目的にすること。
- (2) 今回オリンピック・パラリンピックに新たに採用された種目にふれあう機会を設けること。

6. 学校の部活動との関わりをしっかりと検討すること

- (1) 指導者の確保とその人件費については、よく調査・研究すること。

7. スポーツ少年団との関わりをしっかりと検討すること

- (1) 既存のスポーツ少年団とは別に、クラブはスポーツをする機会の提供とスポーツ人口拡大に努めること。

8. スポーツ基本法にある市町村とクラブの役割を明確にし、あくまでクラブ主体で運営すること

- (1) 行政主体にならないように、スポーツクラブが中心になるためのクラブマネージャーのような人材を早急に確保すること。

9. 通学合宿所をクラブハウスにも利用できるように検討すること

- (1) 総合型地域スポーツクラブのクラブハウスとして活用し、施設の有効活用と経費の節減に努めること。

10. 企業や各種団体との連携や財政的支援を求めること

- (1) 「いわしろふれあいスポーツクラブ」では、(株)河合楽器製作所と体育指導業務で委託契約を締結している。また、復興支援団体とも業務委託契約も結んでいる。こういった企業や各種団体との連携や財政的支援を求めること。

「頑張っている伊達な人」

今回は障がいを持つ子どもたちのため、そして養護学校卒業後の子どもたちのため行動している保原町「手をつなぐ親の会」元会長の佐藤寛さんにお話をお聞きいたしました。

はじめ、子どもの学校関係のことは妻に任せっきりだったのですが、ある方に「手をつなぐ親の会」入会を勧められたことでした。また、教員をしていた妹のアドバイ

スで養護学校への通学がこの子の為になると聞き、福島市立福島養護学校へ入学させました。妻の勤めもあり私も初めて学校へ顔を出すことにしました。余談ですが、今は福島市以外から受け入れできなくなつたみたいですが、その当時は入学できたのです。

◆ 今そこでは受け入れてもらえなくなつたのですか。

◆ 福島市の施設ですから基本的に福島市民以外は受け入れられないようです。

◆ ですが、今は福島県立大笹生支援学校で受け入れてくれますし、バスも運行しています。

◆ 私たちは以前、各家庭で送り迎えや、公共のバスを利用して福島市立福島養護学校へ通学させていました。うちの子もバスを間違えて川俣町まで行ってしまったことなどもありました。大騒ぎで迎えに行ったことを思い出します。大変でした。

◆ 今保原小学校跡地に福島県立だて支援学校がつくられています。

◆ 本当に良いことだと思えます。今「手をつなぐ親の会」の活動はどのようなものがあるのでしょうか。

◆ 今、保原には会員が27人いますが、総会や社会福祉協議会のイベントに参加しています。年一回「集い」を各町主催で行い、ゲームなどのイベントを行っています。が、今はコロナのため開催されていません。

◆ 養護学校を卒業した子どもたちの進路についてお伺いします。

◆ 働ける子どもは「ほどはら授産所」などの施設で受け入れてもらえますが、卒業してもそこに入れない重度の障がいを持つ子どもは「生活介護事業所だての郷」などの施設で生活介護を受けています。

◆ 「だての郷」は入所施設ではないのですか。

◆ そうですね、通所施設になります。平成12年当時、私が伊達地域の「手をつなぐ親の会」の会長をしていた頃、「手をつなぐ親の会」が主体となって、養護学校を卒業した子どもが集える小規模作業所をつくりました。それが「たけのこの家」でした。個人的につくった施設です。補助金が少なく

て本当に大変でした。当時作業所に対しての補助金は年間600万円でしたから、人件費にもならなかったです。「たけのこの家」を卒業した子どもは35人になります。その後「だての郷」ができて「たけのこの家」に通所していたほとんどの子が通えるようになりました。

◆ 皆さんの抱える課題は何でしょうか。

◆ 一番の課題は、子どもの将来についてです、保護者共通の悩みとなっているところです。親の高齢化に伴い障がい児の養育ができなくなつても兄弟に任せるのは難しいと思いますので、今は親が頑張っています。福島市には入所施設（障がいも重くても入所して生活できる施設）が2か所、安達太良には1か所ありますが伊達市、伊達郡にはないのです、短期で預けられるところはあるのですが、入所する場所がないのが課題です。ぜひ欲しいと思っています。

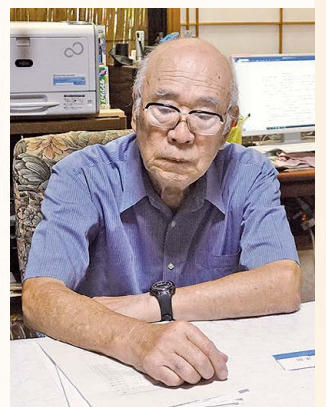
◆ 課題に対しての働きかけについてお伺いします。

◆ ショートステイの場所は伊達市にはないので、あぶくま福祉会に働きかけて小規模のグループ

ホームを梁川につくってもらいました。6人規模の施設です、私たちも運営を助けるため段ボール集めを一日おきに行っています。段ボールは軽トララック1台で1,800円ぐらいですが年間で100万円ぐらい寄付できています。活動を続けるには人件費もかなり苦労しています。

◆ 今までの活動を通して伝えたいことは何ですか。

◆ 社会的に障がい児への認識が不足しているのを感じます。身内などにいれば意識するのでしょうか、認知してもらえない状況です。ある場所では施設をつくりたい旨を伝えると、断られたことがあります。弱者を思いやれない環境にがっかりした思い出があります。とにかく動けるうちに礎をつくりたいの思いで動いてきました。安心して障がい児が入所できる施設の建設実現を目指して活動を続けていきます。



◆ 広報委員 今日はお忙しいところお会いしていただきありがとうございます。早速ですが、「手をつなぐ親の会」とは何をされている会なのでしょう。

◆ 佐藤さん 障がいを持つ子どもの親の会ですね。子どもの進路についてなど保護者の間で情報交換や意見交換をする場所です。

◆ 佐藤さんが「手をつなぐ親の会」に入ったきっかけを教えてください。

◆ 一番下の子が障がいを持って生まれてきました。

請願・陳情について

請願とは、憲法等に保障された「請願権」の趣旨に従い、公の機関に対して要望や意見を述べることで、議員の紹介により提出することができます。

陳情とは、実情を訴え、適切な措置を要望するもので、議員の紹介なしで提出することができます。

請願の取り扱い

議会に提出された請願は、内容により所管する常任委員会
で審査され、本会議において採択・不採択を決定します。

審査結果は、提出者(複数の場合は代表者)あてに通知します。

請願書の出し方

請願書は、邦文により、文書で市議会議長あてに提出して
ください。記載していただく事項は次のとおりです。

1. 提出年月日
2. 請願者の住所
3. 請願者の団体名(※個人の場合は必要ありません)
4. 請願者の職・氏名(※個人の場合は署名または記名押印、団体の場合は押印が必要です)
5. 連絡先(※日中連絡が取れる電話番号と担当者名)
6. 紹介議員の署名または記名押印(※請願書の場合のみ)
7. 件名
8. 請願の趣旨

※書式は、原則としてA4判用紙で横書きとします。
 ※ひとつの案件ごとに一件の請願(陳情)書として作成し、
 ふたつ以上の案件を一件の請願(陳情)書に記載しないよう
 にしてください。
 ※土木事業関係などの請願(陳情)の際には、略図、位置図

(地図)等を添付してください。

【注意】請願審査は原則として3、6、9、12月の年4回
開催される市議会定例会議等において行います。受付には
締切りがありますので、詳しくは議会事務局(電話:024-
575-1217)にお問い合わせください。(※受付締切後に提出
された場合は、次の会議で審査されます)

なお、受付は、平日の午前8時30分から午後5時15分
に伊達市役所3階の議会事務局で常時行っています。

令和 年 月 日

伊達市議会
議長 〈議長名〉○○○○ 様

住 所 (団体または個人の住所)
団体名 (名称 ※個人の場合は不要)
氏 名 (代表者の職・氏名または個人氏名) ㊤
連絡先 (日中連絡の取れる電話番号・担当者名)

紹介議員 (1人以上、署名または記名押印)

〈 件 名 〉○○○○○○○○○に関する請願書
(請願の趣旨)
.
.
.
.
.
.
.
.
.

を求め、請願いたします。

※個人の
場合は署名
または記名
押印

陳情の取り扱い

陳情の取り扱いは原則として請願に準じますが、審査を行
うかは議会運営委員会で決定します。
 陳情書の書き方及び提出方法は、請願書と同様です。

みなさんからの請願・陳情

令和3年第5回定例会議(9月)で受理したのは、請願2件でした。
所管の委員会に付託して審査し、委員長が本会議に審査結果を報告、採決の結果、次のとおり決定しました。

受理番号 受理年月日	請 願 件 名	付託委員会	結 果
第7号 令和3年8月18日	阿武隈急行上保原駅周辺の安全対策と駅利用者 の利便性向上を求める請願	産業建設常任委員会	採 択
第8号 令和3年8月23日	伊達上志和田地区の下水道整備に関する請願	産業建設常任委員会	不 採 択

編集後記

ドライブに行くときGPS機能付カーナビゲーションシステムがなくてはならないアイテムになった。ひと昔前は助手席の妻に地図を持たせてのナビ。右折だの左折だのと地図をぐるぐる回しながら笑いながら目的地を探したのも懐かしい。便利になつた現在はスマートフォンでもできる。しかしながら使える人と使えない人の情報格差も広がり問題となっている。そんな中、先日新型コロナウイルス接種をためらっている若い主婦と話した。インターネットやSNSなどでメッセンジャーやWhatsAppなどで機種への危険性を語った根拠のない情報を見たという。便利になつた反面、善意、悪意、様々な情報がたくさん入ってくる現代。情報洪水に溺れない確固とした見識が求められているのではないだろうか。新型コロナウイルスに翻弄された本年だったが、これからも市と市民、一緒かどうでもない「わざわざありがとう」と伊達な思いやりで乗り切っていきたい。

議会広報委員会

- 委員長 池田 英世
 副委員長 伊東 達朗
 委員 池田 英世
 委員 佐藤 寛達
 委員 池田 英世
 委員 野田 明子